

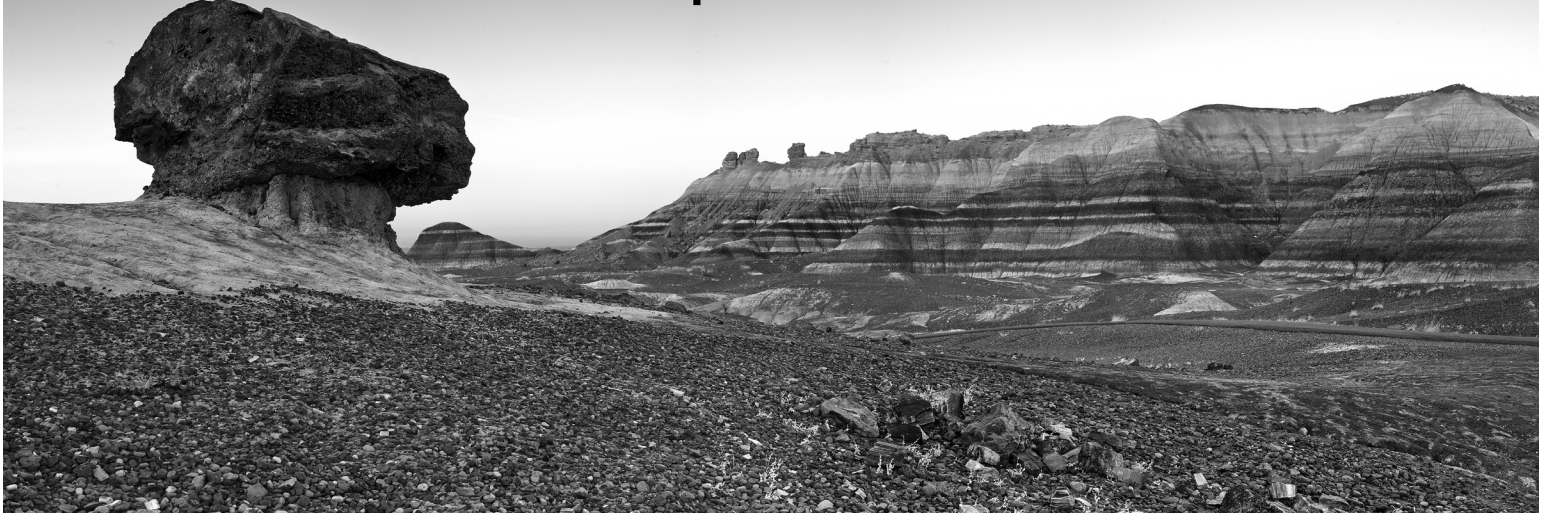
Petrified Forest

National Park Service
U.S. Department of the Interior



Petrified Forest National Park
Arizona

ペトリファイド・フォレスト—Japanese Translation



ペトリファイド・フォレスト

この乾燥した台地は、かつて多くの川が横切り、土砂が堆積する広大な平野だった。川の上流である南方には、高く堂々とした松林が川岸にまで広がっており、ワニに似た爬虫類や巨大な魚食の両生類、小型の恐竜などがシダやソテツ、また今日では化石としてだけ知られる植物や動物とともに生息していた。南洋杉のような高い木々は倒れると、増水した川の流れによって氾濫原に押し流され、泥や砂、火山灰に覆われた。これらの堆積物が木の酸化を防ぎ、腐食を遅らせた。徐々に珪土(シリカ)を含む地下水が丸太に染み込み、木の組織を包み込んだ。この過程はゆっくりと進み、やがて珪土は水晶となり、丸太は石化した木として保存された。

これは2億2千5百万年前、三畳紀後期の出来事であり、その後、古代大陸パンゲアはいくつかに分かれて移動し、現在の北アメリカが形成された。そして、この地域全体が隆起した。石化した丸太は砕け、堆積物の層に深く埋没した。やがて、風と水が硬い堆積物の層を浸食し、石化した丸太や化石が姿を現した。

今日もお風と水による堆積物層の侵食は続いている。侵食は石化した木を風化させるとともに、地下にまだ埋もれている丸太や化石を少しずつ地表に露出させている。公園内のある地域では、90メートルにも及ぶ化石を含む層が残っている。20世紀初め以降、ここでは、巨大な爬虫類・両生

類の化石、すでに絶滅してしまった魚類、謎に包まれた植物の化石が発見されている。石化した木々、かつて生息していた動植物の化石、そしてそれらが発見された堆積物の層に何百万年にも渡ってこの地域に起きた環境の変化を見ることができる。

ここにはまた化石以外の物語もある。それはこの地に人間が住んでいたことである。公園内には1万年も前から人間が居住していたと思われる場所がある。狩猟・採集の時代から定住農村(プエブロ)、そして、近隣の商業的交流が行われた時代までこの地に人々が住んでいたことが、陶器の破片や石器、岩に描かれた絵などによって証明されている。しかし、西暦1400年前後にこれらの人々はこの地域から姿を消してしまった。

19世紀半ば、米軍の地図製作者や測量技師たちがこの地域にやってきて、ペインティッド・デザートと石化した木の話をもつて東部へ持ち帰った。これに続き、農民や牧場主、そして、観光客がこの地へと来始めた。石化した木をみやげ物やその他の商業目的に使っていた住民たちは、ある日本の供給には限りがあること、そして、この地域の重要性に気づいた。1906年、ペトリファイド・フォレストの一部がルーズベルト大統領によって、国立公園に指定され、1962年にはペトリファイド・フォレストは国立公園となった。

警告

公園内の石化した木材はもちろん、公園内の植物、化石などはすべて採集・持ち出しが法律で禁止されている。違反した場合には、罰金または拘留、あるいはその両方が課せられる。公園内の売店や公園周辺のギフトショップでは公園外で合法的に採集されたものが販売されている。

石化した丸太は鋭利で怪我をしやすいため、登らないこと。ガードレールやフェンスを越えたり、トレイルからはずれたりしないこと。公園内での破壊行為や木の持ち出しを見た場合にはレンジャーに報告すること。病気の感染が心配されるため、野生動物には近づかないこと。

公園内での注意事項

常に制限速度を守り、路上駐車しないこと。車は指定された場所のみ駐車すること。ペットは常に鎖につなぎ、建物の中や自然区域には入れないこと。長時間のハイキングや自然区域でのキャンプには十分な水を持参し、パークレンジャーに行動予定を告げること。公園内は平均標高1770メートル(5800フィート)のため、自分の限界を知り、無理をしないこと。

石化した丸太は鋭利で怪我をしやすいため、登らないこと。ガードレールやフェンスを越えたり、トレイルからはずれたりしないこと。公園内での破壊行為や木の持ち出しを見た場合にはレンジャーに報告すること。病気の感染が心配されるため、野生動物には近づかないこと。

公園の概要

ペインティッド・デザート・ビジターセンターはI-40を降りてすぐの公園北口にあり、ここでは公園に関するインフォメーションが得られる。

公園内を走る45キロ(28マイル)のドライブコースは所々に駐車スペースがあり、景観を楽しむことができる。

公園北側の高台にある9つの展望台からはペインティッド・デザートの大らかな景色が楽しめる。カチーナ・ポイントにあるペインティッド・デザート・イン博物館は1920年代に建設され、1930年代の末に民間自然保護団体によって再建された。この建物は1987年に文化財保存建造物に指定された。

自然区域への入り口は博物館の裏にあり、キャンプサイトは川の向かい側から始まる。自然区域では、ハイキングやキャンプができる。ハイキング、自然区域内でのキャンプ許可、天候状況、地図の入手などはビジターセンターに問い合わせること。

シンド・ポイントではピクニックができ、夏の間だけ水とお手洗いの設備がある。

公園内の道路はプエルコ川を横切り、プエルコインディアン遺跡へ通じている。この遺跡は西暦1400年以前にこの地に人間が居住していたことを物語っている。

ニュースペーパー・ロックの展望台からは岩石彫刻で覆われた大きな砂岩が見える。

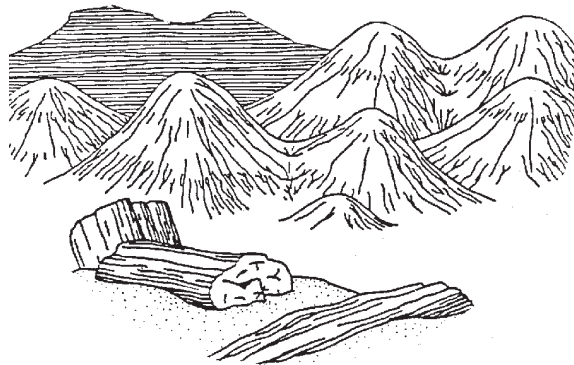
その先には6.4キロ(4マイル)の支道がブルームサへと続いている。そこには、岩の台座にのった丸太がたくさんある。ここからはペインティッド・デザートの子の部分とたくさんの石化木が見られる1.6キロのトレイルコースが始まっている。

ジャスパーフォレスト展望台は断崖の上にあり、谷間に多くのカラフルな石化木が散らばっている様子が見える。

土産物屋や宝石収集家によるクリスタルフォレスト地域での化石破壊が住民によるアメリカ議会への石化木地域保存の請願を促した。丸太の割れ目や穴にはかつて美しい水晶や紫水晶が埋もれていたが、その多くはすでに失われてしまった。

ロング・ログ・トレイル、アガテ・ハウス・トレイルを歩くとレインボーフォレストの一部を楽しむことができる。鉄、マンガン、その他の鉱物が石化した木に鮮やかな色を添えている。アガテハウスはプエブロ(古代の人々の住居)を1930年代に復元したもの。

公園の南口はU.S.180から北に3キロ(2マイル)に位置し、レインボー・フォレスト博物館がある。博物館では、石化した木やこの地域の地質学史、人類学に関する展示が見られる。また、ジャイアント・ログ・トレイルはここから始まる。



サービス

ペインティッド・デザート(公園北口): レストラン・ガソリンスタンド・コンビニ・本屋・ギフトショップ

レインボーフォレスト(公園南口): 本屋・ギフトショップ・軽食
食事・宿泊施設等は近くの町にある。

ピクニックとキャンプ

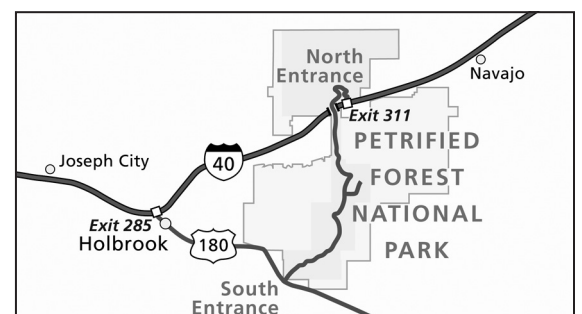
公園内にキャンプ設備はない。自然区域でのバックパック・キャンピングのみ可能。水・お手洗いの設備はない。ビジターセンターで無料の許可証を取ること。

ピクニックはシンドポイント、レインボーフォレストでできる。

時間とガソリンの節約

西からは、ホルブルックからU.S.180で公園南口へ。公園内を通過して北口からI-40へ。

東からは、I-40をExit 311で降り、北口から公園に入る。南口から出て、U.S.180に出る。右に曲がってホルブルックでI-40に戻る。



住所

Petrified Forest National Park
P.O. Box 2217
Petrified Forest, Arizona, 86028

928-524-6228